

(19)  KOREAN INTELLECTUAL PROPERTY OFFICE

## KOREAN PATENT ABSTRACTS

(11)Publication number: 1020030085901 A  
(43)Date of publication of application: 07.11.2003

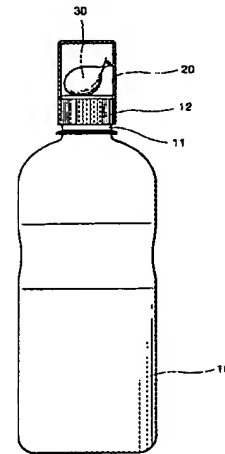
(21)Application number: 1020020024203  
(22)Date of filing: 02.05.2002  
(51)Int. Cl B65D 51 /24

(71)Applicant: HAITAI BEVERAGE CO., LTD.  
(72)Inventor: CHA, YEONG JUN

## (54) CAP FOR SALES PROMOTION OF BEVERAGE CONTAINER

## (57) Abstract:

PURPOSE: A cap for sales promotion of a beverage container is provided to arouse interest of children and teenager consumers who buy beverage and maximize a sales promotion effect from an economical viewpoint. CONSTITUTION: In a beverage container having an outlet(11) formed on an upper part of a body(10) with a space for containing beverage and a cap(11) coupled to the outlet (11) by a screwing manner, a transparent cap(20) is detachably provided on the upper part of the cap(12) so that the inside can be viewed transparently and contents(30) are stored in the transparent cap(20).



copyright KIPO 2004

## Legal Status

Date of request for an examination (20060222)  
Notification date of refusal decision (00000000)  
Final disposal of an application (application)  
Date of final disposal of an application (00000000)  
Patent registration number ( )  
Date of registration (00000000)  
Number of opposition against the grant of a patent ( )  
Date of opposition against the grant of a patent (00000000)  
Number of trial against decision to refuse ( )  
Date of requesting trial against decision to refuse ( )

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 07-300165

(43)Date of publication of application : 14.11.1995

(51)Int.Cl.

B65D 83/08

A47K 10/42

B65D 25/52

(21)Application number : 06-117606

(71)Applicant : IKEDA ASAKI

(22)Date of filing : 06.05.1994

(72)Inventor : IKEDA ASAKI

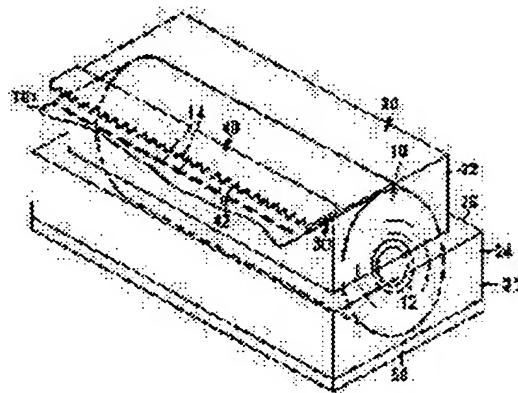
## (54) TISSUE STORING BOX

### (57)Abstract:

**PURPOSE:** To easily and securely certainly draw out tissue paper without interruption to the outside of a box through a slit provided to the box.

**CONSTITUTION:** A belt-like tissue 10 rolled up in a roll, is rotatively stored in a box 20. The upper part of the rolled tissue 10 in the size almost half of the roll is stored with a narrow clearance provided in a space in the upper inside 22, formed in narrow inner diameter, of the box. The lower part, remained being almost half of the roll, of the tissue 10 is stored with a broad clearance provided in a space in the lower inside 24, formed in broad inner diameter, of the box.

Surrounding walls on the upper part of the box 20 are formed of a transparent or translucent material. A slit 30 is provided to a side wall of the box 20, and the middle part of the end 10a of the tissue 10, unwound from the circumference of the tissue 20, is inserted through the slit 30, and the end 10a of the tissue is extruded to the outside of the box 20. A cutter 40 for cutting transversely the tissue 10 is provided in parallel with the slit 30 in a space outside the box 20.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-300165

(43) 公開日 平成7年(1995)11月14日

(51) IntCl. <sup>6</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 6 5 D 83/08	A			
A 4 7 K 10/42				
B 6 5 D 25/52	C			

審査請求 未請求 請求項の数 5 F D (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願平6-117606  
(22) 出願日 平成6年(1994)5月6日

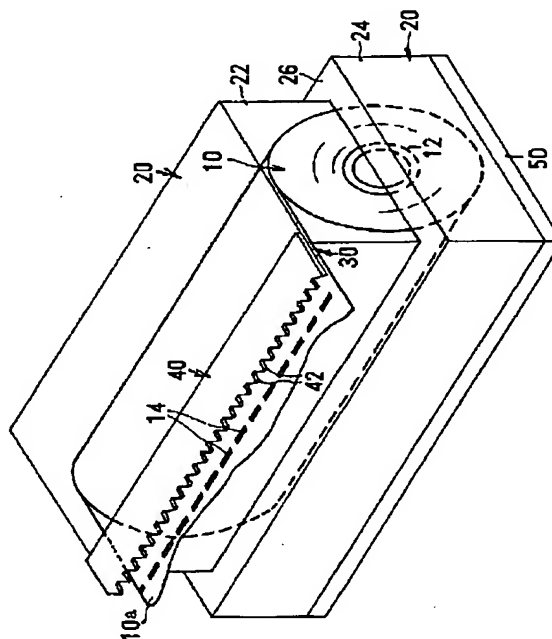
(71) 出願人 591077472  
池田 朝紀  
長野県長野市大字稲田515-3  
(72) 発明者 池田 朝紀  
長野県長野市大字稲田515-3  
(74) 代理人 弁理士 松田 宗久

(54) 【発明の名称】 ティッシュ入りボックス

(57) 【要約】

【目的】 ティッシュを途切れさせることなくスリットを通してボックス外部に確実かつ容易に順に引き出すことのできるティッシュ入りボックスを得る。

【構成】 ロール状に巻かれた帯状のティッシュ10をボックス20内部に回転可能に収容する。ティッシュ10のほぼ上半分は、ボックス上部22の内径を狭く形成した内側空間に隙間少なく収容する。ティッシュ10の残余のほぼ下半分は、ボックス下部24の内径を広く形成した内側空間に隙間をあけて収容する。ボックス20上部の周壁は、透明又は半透明部材で形成する。ボックス20の側壁には、スリット30を設けて、そのスリット30に前記ティッシュ10周囲から巻き戻したティッシュ端部10aの中途部を押通してティッシュ端部10aをボックス20外部に延出する。ボックス20の外側空間には、ティッシュ10を横に分断するためのカッター40をスリット30と平行に並べて設ける。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 ロール状に巻かれた帯状のティッシュと、そのティッシュを回転可能に収容したボックスであって、そのボックス上部の内径を狭く形成した内側空間に前記ロール状に巻かれたティッシュのほぼ上半分を隙間少なく収容すると共に、そのボックス下部の内径を広く形成した内側空間に前記ロール状に巻かれたティッシュの残余のほぼ下半分を隙間をあけて収容し、かつ、その少なくともボックス上部の周壁を透明又は半透明部材で形成したボックスと、そのボックスの側壁に開口したスリットであって、前記ロール状に巻かれたティッシュ周囲から巻き戻したティッシュ端部の中途部を挿通してティッシュ端部をボックス外部に延出したスリットと、前記ボックスの外側空間にスリットとほぼ平行に並べて設けたカッターであって、前記帯状のティッシュを横に分断するためのカッターを備えたことを特徴とするティッシュ入りボックス。

【請求項2】 ボックス下部に錘を備えた請求項1記載のティッシュ入りボックス。

【請求項3】 ボックス上部を開閉自在に構成して、ボックス内部に収容したロール状に巻かれたティッシュを交換できるようにした請求項1又は2記載のティッシュ入りボックス。

【請求項4】 ロール状に巻かれた帯状のティッシュに、そのティッシュを横に分断するための切取り目を所定ピッチで複数本並べて設けた請求項1、2又は3記載のティッシュ入りボックス。

【請求項5】 ティッシュ表面に文字、図形、模様又は記号を記載した請求項1、2、3又は4記載のティッシュ入りボックス。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、ロール状に巻かれた帯状のティッシュを順に引き出し可能に収容してなるティッシュ入りボックスに関する。

## 【0002】

【従来の技術】 従来のティッシュ入りボックスは、方形状に裁断された多数枚のティッシュを重ね合わせて直方体状の紙製のボックス内部に収容している。多数枚のティッシュは、ボックス上端に開口された長穴を通してボックス外部に連続して取り出すことができるように、その隣合うティッシュの端部間を互いに重ね合わせて折り畳んでいる。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、上記のティッシュ入りボックスにおいては、そのボックス内部に収容した多数枚のティッシュをボックス上端の長穴を通してボックス外部に一枚づつ順に取り出した場合に、ティッシュが複数枚連続してボックス外部に引き出されてしまうことがあった。そして、ボックス内部に収容し

たティッシュの多くが無駄に費やされてしまうことがあった。

【0004】 また、ボックス内部に収容した多数枚のティッシュをボックス上端の長穴を通してボックス外部に一枚づつ連続して取り出した際に、ティッシュが途中で途切れてしまうことがあった。また、そうした場合には、手の指をボックス上端の長穴を通してボックス内部に挿入して、手の指でボックス内部の最上層のティッシュをボックス上端の長穴を通してボックス外部に引き出す必要があって、そのボックス内部に残留するティッシュの取り出し作業に多大な手数を要した。

【0005】 本発明は、このような課題を解消した、ティッシュ入りボックスを提供することを目的としている。

## 【0006】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するために、本発明のティッシュ入りボックスは、ロール状に巻かれた帯状のティッシュと、そのティッシュを回転可能に収容したボックスであって、そのボックス上部の内径を狭く形成した内側空間に前記ロール状に巻かれたティッシュのほぼ上半分を隙間少なく収容すると共に、そのボックス下部の内径を広く形成した内側空間に前記ロール状に巻かれたティッシュの残余のほぼ下半分を隙間をあけて収容し、かつ、その少なくともボックス上部の周壁を透明又は半透明部材で形成したボックスと、そのボックスの側壁に開口したスリットであって、前記ロール状に巻かれたティッシュ周囲から巻き戻したティッシュ端部の中途部を挿通してティッシュ端部をボックス外部に延出したスリットと、前記ボックスの外側空間にスリットとほぼ平行に並べて設けたカッターであって、前記帯状のティッシュを横に分断するためのカッターを備えたことを特徴としている。

【0007】 本発明のティッシュ入りボックスにおいては、ボックス下部に錘を備えたり、ボックス上部を開閉自在に構成して、ボックス内部に収容したロール状に巻かれたティッシュを交換できるようにしたりすることを好適としている。

【0008】 また、本発明のティッシュ入りボックスにおいては、ロール状に巻かれた帯状のティッシュに、そのティッシュを横に分断するための切取り目を所定ピッチで複数本並べて設けたり、ティッシュ表面に文字、図形、模様又は記号を記載したりしても良い。

## 【0009】

【作用】 本発明のティッシュ入りボックスにおいては、スリットを通してボックス外部に延出したティッシュ端部を手の指でボックス外部に引き出すことにより、ティッシュ端部に連続するボックス内部のロール状に巻かれた帯状のティッシュをティッシュ端部方向に回転させて、そのロール状に巻かれた帯状のティッシュ端部を上記スリットを通してボックス外部に順に連続して引き出

することができる。

【0010】また、上記のようにしてボックス外部に引き出したティッシュ端部は、スリットを中心にボックスの外側空間に設けたカッター方向に手の指で引き上げながら折り曲げてティッシュ端部の中途部をカッターに押接させることにより、ボックス外部に引き出したティッシュ端部の中途部を上記カッターで横に分断できる。そして、鼻紙等に用いる所定長さの帯状のティッシュを得ることができる。

【0011】また、上記のようにしてティッシュ端部の中途部をカッターで横に分断した後には、カッターで分断したティッシュ端部の中途部より後方のスリットに至るまでのティッシュ端部の残余部分をスリットを通してボックス外部に引き出した状態に残すことができる。そして、そのティッシュ端部の残余部分を手の指で持ってティッシュ端部をボックス外部に再び容易かつ的確に長く引き出して、上記の操作を繰り返すことにより、鼻紙等に用いる所定長さの帯状のティッシュを得ることができる。

【0012】また、ロール状に巻かれたティッシュをボックス内部で回転させた際には、ロール状に巻かれたティッシュのほぼ上半分を隙間少なく収容したボックス上部の内側空間の内周壁でロール状に巻かれたティッシュのほぼ上半分を前後、左右に動かぬように押さえ込みながら、ロール状に巻かれたティッシュを隙間をあけて収容したボックス下部の内側空間とそれに連なるボックス上部の内側空間で抵抗少なく円滑に回転させることができる。

【0013】また、その使用中には、透明又は半透明部材で形成したボックス上部の周壁を通してボックス内部に収容したロール状に巻かれたティッシュのほぼ上半分以上の部分をボックス外部から目視できる。そして、ボックス内部に収容したロール状に巻かれたティッシュの残量を確認できる。

【0014】また、ボックス下部に鉗を備えた本発明のティッシュ入りボックスにあっては、ボックス内部に収容したロール状に巻かれた帯状のティッシュ周囲から巻き戻したティッシュ端部を上記スリットを通してボックス外部に手の指で引き出した際に、ティッシュに引きずられて、ボックスが机上で移動するのを防止できる。

【0015】また、ボックス上部を開閉自在に構成した本発明のティッシュ入りボックスにあっては、ボックス上部を開口させて、ボックス内部に収容した使用済みのティッシュの残部を幾重にもロール状に巻かれた新品のティッシュと交換できる。そして、そのロール状に巻かれた新品のティッシュ周囲から巻き戻したティッシュ端部の中途部をボックス側壁のスリットに挿通してティッシュ端部をボックス外部に延出した状態で、ボックス上部を再び閉じることにより、ボックスをティッシュ入りボックスとして繰り返し再利用できる。

【0016】また、ロール状に巻かれた帯状のティッシュに切取り目を所定ピッチで複数本並べて設けた本発明のティッシュ入りボックスにあっては、スリットを通してボックス外部に引き出したティッシュ端部の中途部を手の指で上記切取り目から容易かつ迅速に横に分断して、鼻紙等に用いる所定長さの帯状のティッシュを得ることができる。

【0017】また、ティッシュ表面に文字、図形、模様又は記号を記載した本発明のティッシュ入りボックスにあっては、スリットを通してボックス外部にティッシュ端部を引き出した後、ティッシュ端部をその中途部からカッター等により分断して鼻紙等に用いたりした際に、上記文字、図形、模様又は記号によりティッシュの外観や体裁を向上させて、ティッシュを心地よく鼻紙等に使用できる。

【0018】

【実施例】次に、本発明の実施例を図面に従い説明する。図1と図2は本発明のティッシュ入りボックスの好適な実施例を示し、図1はその斜視図、図2はその側面断面図である。以下に、このティッシュ入りボックスを説明する。

【0019】10は、ロール状に巻かれた長尺な帯状のティッシュである。ティッシュ10は、円筒状をした紙製のロール芯12に幾重にも巻き付けている。

【0020】20は、上記ロール状に巻かれたティッシュ10をそのロール芯12を中心に回転可能に収容したボックスである。

【0021】ボックス上部22は、その内径を小径に形成していて、ロール状に巻かれたティッシュ10のほぼ上半分をボックス上部22の内側空間に隙間少なく収容している。それに対して、ボックス下部24は、その内径を大径に形成していて、ロール状に巻かれたティッシュ10の残余のほぼ下半分をボックス下部24の内側空間に隙間をあけて収容している。そして、ロール状に巻かれたティッシュ10のほぼ上半分をボックス上部22の内側空間の内周壁で前後、左右に動かぬように押さえ込みながら、ロール状に巻かれたティッシュ10を隙間をあけて収容したボックス下部24の内側空間とそれに連なるボックス上部22の内側空間でロール芯12を中心に抵抗少なく円滑に回転させることができるようにしている。

【0022】ボックス上部22は、逆箱体状をしていて、その下端を広く開口させている。

【0023】ボックス下部24は、箱体状をしていて、その上端を広く開口させている。ボックス下部24の周壁は、不透明な厚紙等で形成している。

【0024】ボックス下部24の上端開口部周縁には、帯状の鈎26をボックス20内側に向けて延設している。そして、その鈎26上にボックス上部22の開口部下端縁を搭載した状態に固定している。

【0025】ボックス20上部の周壁は、透明又は半透明部材で形成している。具体的には、ボックス上部22の周壁の全体又はその一部（図では、全体としている）を透明又は半透明部材で形成している。そして、ボックス20上部の周壁を通してボックス20内部に収容したロール状に巻かれたティッシュ10のほぼ上半分以上の部分

をボックス20外部から目視できるようにしている。そして、ボックス20内部に収容したロール状に巻かれたティッシュ10の残量を容易に確認できるようにしている。

【0026】ボックス20の側壁には、横長のスリット30を開口している。スリット30は、ボックス上部22の側壁上部に長く開口している。スリット30には、ボックス20内部に収容したロール状に巻かれたティッシュ10周囲から巻き戻したティッシュ端部10aの中途部を挿通している。そして、ティッシュ端部10aをスリット30を通してボックス20外部に延出している。

【0027】ボックス20の外側空間には、カッター40をスリット30とほぼ平行に並べて設けている。具体的には、スリット30近くのボックス20の上端面にカッター40をその一方の側縁をボックス20外方に突出させて付設している。カッター40には、例えば、横長帯状の金属板又はプラスチック板の一方の側縁に鋸刃状の刃部42を備えたものを用いている。なお、カッター40には、その一方の側縁にナイフエッジ状の刃部を備えたもの等を用いても良い。

【0028】図1と図2に示したティッシュ入りボックスは、以上のように構成していて、このティッシュ入りボックスにおいては、スリット30を通してボックス20外部に延出したティッシュ端部10aを手の指でボックス20外部に引き出すことにより、そのティッシュ端部10aに連なるボックス20内部のロール状に巻かれた帯状のティッシュ10をティッシュ端部10a方向に回転させて、そのロール状に巻かれた帯状のティッシュ10を上記スリット30を通してボックス20外部に順に連続して引き出すことができる。

【0029】次いで、上記のようにしてボックス20外部に引き出したティッシュ端部10aを上記スリット30を中心にボックス20の外側空間に設けたカッター40方向（図2の矢印方向）に手の指で引き上げながら折り曲げてティッシュ端部10aの中途部をカッター40の側縁に押接させることにより、ボックス20外部に引き出したティッシュ端部10aの中途部をカッター側縁の刃部42で横に分断できる。そして、鼻紙等に用いる所定長さの帯状のティッシュ10を得ることができる。

【0030】また、上記のようにしてティッシュ端部10aの中途部をカッター40で横に分断した後は、カッター40で分断したティッシュ端部10aの中途部より後方のスリット30に至るまでのティッシュ端部10

aの残余部分をスリット30を通してボックス20外部に引き出した状態に残すことができる。そして、そのティッシュ端部10aの残余部分を手の指で持ってティッシュ端部10aをボックス20外部に再び容易かつ的確に長く引き出して、上記の操作を繰り返し行うことにより、鼻紙等に用いる所定長さの帯状のティッシュ10を得ることができる。

【0031】また、ロール状に巻かれたティッシュ10をボックス20内部で回転させた際には、ロール状に巻かれたティッシュ10のほぼ上半分を隙間少なく収容したボックス上部22の内側空間の内周壁でロール状に巻かれたティッシュ10のほぼ上半分を前後、左右に動かぬように押さえ込みながら、ロール状に巻かれたティッシュ10を隙間をあけて収容したボックス下部24の内側空間とそれに連なるボックス上部22の内側空間で抵抗少なく円滑に回転させることができる。

【0032】なお、上述ティッシュ入りボックスにおいては、ボックス上部22の周壁のみでなく、ボックス下部24の周壁も透明又は半透明部材で形成しても良く、そのようにすれば、ボックス20内部に収容したロール状に巻かれたティッシュ10の残余部分のほぼ全体をボックス20の周壁を通して容易かつ確実に目視できて都合が良い。

【0033】また、ボックス20の下端には、図1と図2に示したように、錘50を備えるのが良く、そのようにすれば、ボックス20内部に収容したロール状に巻かれたティッシュ10周囲から巻き戻したティッシュ端部10aをスリット30を通してボックス20外部に手の指で引き出した際に、ティッシュ10に引きずられて、ボックス20が机上で移動するのを上記錘50で防止できる。この錘50には、図1と図2に示したような、平板状の金属板、合成樹脂板をボックス20の外側下端面に貼着したものが良い。

【0034】また、ボックス上部22は、開閉自在に構成して、ボックス20内部に収容したロール状に巻かれたティッシュ10を交換できるようにするのが良く、そのようにすれば、ボックス20内部に収容したティッシュ10の残量が少なくなった際に、図3に示したように、ボックス上部22を開口させて、ボックス20内部のティッシュ10の残部を幾重にもロール状に巻かれた新品のティッシュ10と交換できる。そして、そのロール状に巻かれた新品のティッシュ10周囲から巻き戻したティッシュ端部10aの中途部をスリット30に挿通して、そのティッシュ端部10aをボックス20外部に延出した状態で、ボックス上部22を再び閉じることにより、ボックス20をティッシュ入りボックスとして繰り返し再利用できる。このボックス上部22を開閉自在に構成する機構としては、図3に示したような、ボックス上部22の長手方向の一方の側壁をそれを搭載したボックス下部24の上端開口部周縁の鍔26に合成樹脂材

7

等からなる蝶番60を介して回動自在に固定すると共に、ボックス上部22の長手方向の他方の側壁をそれを搭載するボックス下部24の上端開口部周縁の鈎26に離脱可能に固定する固定手段70を備えたものが良い。固定手段70は、図3に示したように、ボックス上部22の他方の側壁に係止突起72を延設すると共に、その係止突起72を離脱可能に押入する押入孔74を鈎26に開口したもの等が良い。

【0035】また、ロール状に巻かれた帯状のティッシュ10には、図1に示したように、そのティッシュ10を横に分断するための切り目14を所定ピッチで複数本並べて設けても良く、そのようにすれば、スリット30を通してボックス20外部に引き出したティッシュ端部10aの中途部を、カッター40等を用いずとも、上記切り目14から手の指で容易かつ迅速に横に分断できて都合が良い。

【0036】また、ティッシュ10表面には、文字、図形、模様又は記号を記載しても良く、そのようにすれば、スリット30を通してボックス20外部にティッシュ端部10aを引き出したり、その引き出したティッシュ端部10aをその中途部から分断して鼻紙等に用いたりした際に、上記文字、図形、模様又は記号によりティッシュ10の外観や体裁を向上させて、ティッシュ10を心地よく鼻紙等に使用できて都合が良い。

【0037】

【発明の効果】以上説明したように、本発明のティッシュ入りボックスによれば、ボックス内部に収容したロール状に巻かれた帯状のティッシュを途中で途切れさせることなくスリットを通してボックス外部に手の指で順に連続して確実かつ容易に引き出すことができる。そして、そのティッシュ端部をボックスの外側空間に設けたカッターを用いてその中途部から横に分断して、鼻紙等に用いる所定長さの帯状のティッシュを常に誤りなく容

8

易かつ的確に得ることができる。

【0038】また、本発明のティッシュ入りボックスによれば、ティッシュを方形状に多数枚に裁断したり、その多数枚に裁断したティッシュをその隣合う端部間を互いに重ね合わせて複雑に折り畳んだりせずに、ティッシュを単純に帯状に長く形成してロール状に巻くだけでボックス内部に収容するティッシュを形成できる。そして、ボックス内部に収容するティッシュの製造工程を大幅に簡略化、短縮化できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のティッシュ入りボックスの斜視図である。

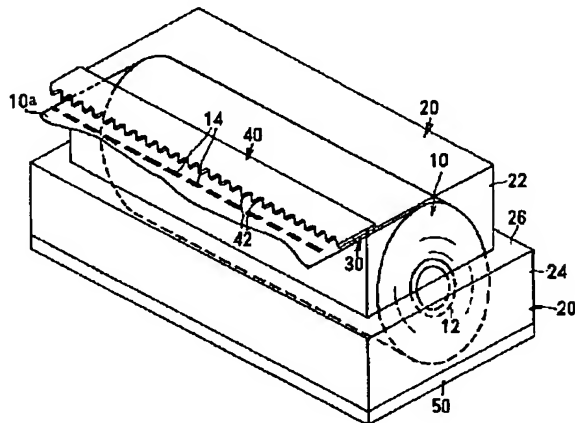
【図2】本発明のティッシュ入りボックスの側面断面図である。

【図3】本発明のティッシュ入りボックスの使用状態を示す側面断面図である。

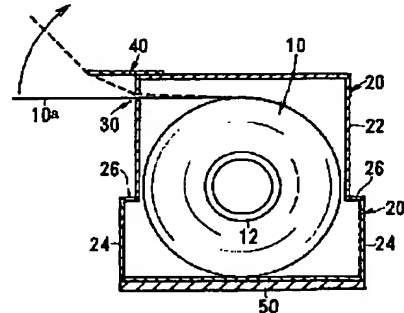
【符号の説明】

- 10 ティッシュ
- 10a ティッシュ端部
- 12 ロール芯
- 14 切り目
- 20 ボックス
- 22 ボックス上部
- 24 ボックス下部
- 26 鈎
- 30 スリット
- 40 カッター
- 42 刃部
- 50 錘
- 60 蝶番
- 70 固定手段
- 72 係止突起
- 74 押入孔

【図1】



【図2】



(6)

特開平7-300165

【図3】

